

SEOを重視した記事作成の4ポイント

1. 関連度が高い、書きやすい記事を書く

記事のテーマは、「シャンプー」についてなど、まずは書きたいことを書いてみてください。ただ、ホームページの内容(美容室)と関連度が低い内容はできるだけ避けるようにしましょう。
NG:「スタッフみんなでバーベキューした」など

2. 最低でも 2000 文字の記事を作る

今回は例として、「オジジオット」をテーマに記事を書いております。そこから内容を掘り下げていき、内容の濃い記事を作成します。

例) オジジオット→トリートメント→長持ち→トリートメントが長持ちしない理由→ホームケア不足→ホームケアの方法 など

3. タイトルにはキーワードを必ず入れる

タイトルの先頭には、なるべく**最重要キーワード**を入れましょう。検索画面にはされるのは30文字程度です。キーワードをたくさん盛り込んでも意味はありません。

例) オジジオット髪質改善トリートメントは1ヶ月も長持ち!?

最重要キーワード(オジジオット)、重要キーワード(髪質改善・トリートメント)

4. 記事はアップデートする

短い記事を毎日増やすより、内容が濃い記事を最低でも月に1回でも増やす方が効果的です。ただ、優良記事を最初から作るのはとても難しいので、最新情報が出るたびに記事のアップデートや内容修正などを何度も繰り返し、優良記事に近づけます。

簡単にできる SEO 対策

文章を増やすアイデア

「この記事を読むと」の項目、「こんな方に読んでほしい」の項目、「まとめ」の項目、「お客様の声」の項目、「取り扱い商品」の項目などを盛り込むと、自然とテキストを増やすことができます。

関連度が高いコンテンツへのリンクは有効

関連度が高く、検索順位が上位のコンテンツへのリンクは効果的です。リンク先と関連度が高い表示テキストが望ましいです。

◎：<https://oggiotto.com/>oggiotto(オッジイオット)公式サイトはこちら

×：<https://oggiotto.com/>こちらを参考にしました。

外観などで日々髪はダメージを受けています。お客様の髪質の
とりの髪の毛を診断し、髪の最深部から10種類以上の栄養分を
お悩みに合わせて処方するトリートメントがオッジイオットで
す。

髪に失われた成分を補いながら、施術中でも栄養を与えてダメ
ージ毛をベストコンディションに近づけます。

>> [oggiotto\(オッジイオット\)公式サイトはこちら](https://oggiotto.com/)

SEO サポートサイト

<https://neoinspire.net/cooccur/>

キーワードと一緒に使うといいキーワードを収集できるサイト

例) oggiotto で検索↓

トリートメント (143) オッジイオット (108) シャンプー (99) サロン (74) 美容 (69) 髪質 (55) 改善 (53) ヘアケア (52) ケア (50) ヘア (45) 髪の毛 (44) CMC(30) 美容室 (29) オッジイオットサロントリートメント (27) カラー (27) おすすめ (26) ダメージ (23) 成分 (23) 効果 (21) 商品 (20) 解説 (19)

<http://aramakijake.jp/>

キーワード検索ボリュームを調べることができるサイトです。検索数が表示されます。

例)

oggiotto→2284

オッジイオット→5119 【←検索ボリュームが oggiotto より高い】

NG 行為

コピーコンテンツは順位を下げる

コピーコンテンツが多いサイトは、Google からペナルティーをもらい検索順位を下げてしまいます。他の記事を参考にしたとしても必ずコピーはせず、自分の言葉や言い回しで記事を書くようにしましょう。

ユーザーがすぐ離脱してしまうサイトは順位を下げる

キーワードを盛り込むことが正しい SEO 対策ではありません。キーワードをただ盛り込んだだけのサイトは、ユーザーにとって読みづらいサイトになってしまう可能性があります。

画像やタイトル、文章の途中で改行を入れて余白を設けるなど、ユーザーが読みやすい記事作りが大切です。

また、クリックされやすいタイトルだとしても、記事の内容が合っていないと離脱されてしまいます。内容に合ったタイトルをつけることも大切です。



オジジオットのトリートメントは、1ヶ月も長持ちするって本当？

お客様から「トリートメントをしても3日後には元に戻ってしまう。。」「戻るから意味ない」というお話を聞くことがあります。しかし、オジジオットは他のトリートメントと違い、約1ヶ月も長持ちする力を持っています。そもそもなぜトリートメントが長持ちしないのか。

余白

トリートメントが長持ちしない理由

タイトル

そもそもダメージを受けた髪は、内側を覆っているキューティクルが開いている状態です。そこにいくら栄養を入れても、蓋